

プレスリリース

2005年11月1日

株式会社サンギ

サンギ「アパタイト触媒プロジェクト」が NEDO 「次世代戦略技術実用化開発助成事業」として採択決定

株式会社サンギのプロジェクト「アパタイト触媒によるエタノールから化学品への転換技術の開発」が、2005年11月1日、独立行政法人 NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の次世代戦略技術実用化開発助成事業として採択されました。

サンギは金属無担持の非化学量論組成ハイドロキシアパタイト（HAP）触媒を用い、元素比率や反応条件を選択することで、バイオエタノールからブタノール等の高級アルコールやブタジエンなどの化学工業原料および粗ガソリン（バイオガソリン）を高選択的に合成できることを発見した。本事業では生産物の収率改善に向けた HAP 触媒の物性制御法および工業用触媒開発の技術的課題を解決する。

今回行った予算申請額は平成 17・18 年度の 2 年間で総額 5,558 万円で、うち 3 分の 2 を NEDO が支援する。それにより、必要な装置や人員を補充し、3 年をめどとしていた研究計画を 1 年半に短縮することが可能となり、大量生産への道がより早く拓くことが期待できるようになった。

バイオエタノールは合成技術の進歩によって安価・大量生産の方向にあり、さらに 2006 年 4 月に日本市場が完全自由化されるため、バイオエタノールを原料とするサンギの新構想は、事業としての採算性が十分に見込まれる。またバイオエタノールの普及により価格がさらに下がれば、石油化学に代わる一層収益性の高い事業が期待される。

今回の NEDO の採択事業一覧および審査員については、
下記アドレスをご参照ください。

http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/171101_2/171101_2.html